

よこたこども園だより

No.5 令和8年8月20日発行

先日、横田公民館主催の人権研修会に参加してきました。昨年ノーベル平和賞を受けられた被団協の本間恵美子代表理事の「平和」についての講話をお聞きしながら、百日紅のことを思い出しました。夏に目立つピンク色(赤もあり)の花といえばサルスベリ。サルスベリは漢字で「百日紅」と書いて「ひやくじっこう」と呼びます。夏から秋にかけて次々に花をつけ、長く花を咲かせるところからついた名前であり、つるつるの幹の肌がなめらかで猿もすべりそうだと「サルスベリ」の名がついたといわれています。

8月の広島にはその花の美しさとともに、戦争の記憶を今に伝えるサルスベリが咲きます。中区寺町にある善正寺のサルスベリは1945年8月6日、爆心地から約1100メートルの場所で被爆した樹木です。原爆の被害を受けながらも生きのびたサルスベリ。平和記念公園内には善正寺の被爆樹木の種子から育てられたサルスベリがあり、被爆を生きのびた命が次の世代へつながっていることを証明しています。

本間さんのお話を聞きながら、原爆の悲惨さを学ぶことに加え、被爆二世として何を受け継ぎ何を伝えるべきなのか真剣にお考えになっているその生きざまに感動を覚えながら、百日紅の姿から何が受け継がれてきたのかを考えることが大事なだと気づかされました。

一度失われかけた命が守られ、次につながれていく命のたくましさや尊さ、つながることの意味など、華やかな花を見上げることが、過去を学び、平和の意味をあらためて考える入口になることを思いながら、改めて近所の百日紅の木を見上げました。

8月は平和について考える格好の時期です。広島・長崎の原爆、戦争は最悪の人権侵害であり、人権についても思いを寄せるいい機会かと思えます。ひるがえって、私たちの日常はどうでしょうか。ある中学生は「自分にとって平和とは家族がそろって食卓が囲めること」と表現しています。子どもにとって平和とは何でしょうか。あたたかな家庭の日常でしょうか。両親と一緒に旅行ができることでしょうか。決して楽しいことばかりではありませんが、何となく「楽しかったな」「よかったな」と思える、そんな日々を送ることができれば、子どもにとっては平和なのかもしれません。この機会に、わたしたちは今一度、子どもとどう向き合うことが「子どもにとって最善(平和)」なのか考えてみたいものだと思います。

園長 福田充雄

水遊び プール遊び楽しいね！

水遊びやプール遊びなどそれぞれの年齢に合わせた活動を取り入れて楽しんでいます。未満児は水に触れる心地良さや楽しさを味わっています。以上児は全身を使って水に触れダイナミックに遊びを楽しんでいます。プール最終日には、自分で目標を決め、がんばったこと、できるようになったことを見せ合いました。お互いに頑張りを認め合うことで達成感を味わい、また一つ自信につながった子ども達でした。

奥出雲町横田1125

TEL(0854)52-2296(20)

8月の保育目標

「全身を使って夏の遊びを思いきり楽しむ」

まだまだ暑い日が続きます。水や砂、泥に触れながら、五感をしっかりと刺激し、子ども達がやってみたくとも心も体も存分に動かしてのびのびと遊び、開放感を味わって楽しんでいきたいと思います。

～小森神楽～



10日に小森神楽鑑賞を行いました。笛や太鼓の音、オロチの迫力に子ども達も釘付けになっていました。地域の文化に触れる貴重な体験となりました。

～地域交流～

～八川ぼん盆フェスタ、鳥上盆踊り～

3日に八川婦人会の方々に八川音頭を教えて頂きました。優しく振り付けを教えて下さり、子ども達も真似をしながら「もう一回やりたい」と楽しく踊ることができました。13日のぼんぼんフェスタ本番でも地域の方と一緒に笑顔で楽しく踊ることができました。

14日には鳥上盆踊りに参加しました。元気よく『やってみよう！』のダンスを披露し、祭りを盛り上げることができました。これからも地域の文化に触れながら地域の方々との触れ合いを大切にしていきたいと思います。



9月のよこたこども園 行事予定

4日(金)劇団「杉の子」鑑賞(15:30～)
8日(火)避難訓練(消防署来園)
14日(月)、17日(木)横田高校生保育体験
15日(火)祖父母参観日
16日(水)4歳児運動遊び
18日(金)中学生職場体験
26日(土)八川環境整備(6:00～)
27日(日)秋のクリーン大作戦in馬木
28日～30日ひよこ組子育てトーク
30日(水)未満児保育参観&保護者講演会

島根リハビリテーション学院と教育連携
9月1日～4日教員、学生が来られます。

《今月の健診》

8月 6日(木)
1歳6ヶ月児健診
(令和6年12月・令和7年1月生)

8月20日(木)
10ヶ月・11ヶ月検診 (令和7年9・10月生)
7ヶ月・8ヶ月検診 (令和7年12月生)
(令和8年1月生)
4・5ヶ月検診 (令和8年3・4月生)

9月24日(木)
1歳6ヶ月健診 (令和7年2月生)
3歳児健診 (令和5年1・2月生)

青:地域交流 緑:保護者参加

10月の予定

2日(金)親子運動会(以上児)
5日～16日らいおん組子育てトーク
6日～8日中学生職場体験
13日～23日きりん組子育てトーク
21日(水)以上児保育参観&講演会
25日(日)よこただんだんフェスタ(4・5歳児)
26日～30日ぱんだ組子育てトーク
30日(金)りす、うさぎ組ふれあいデー
(運動遊び)

9月のよこた子育て支援センター行事

11日(金) 子育てひろば
15日(火) わらリズム

12日(土) 子育て支援センター 開放日
27日(日) 子育て支援センター 開放日
14日(月) 子育て支援センター 休館日
28日(月) 子育て支援センター 休館日

よこた支援センター 開設時間
9:30～15:30 (月～金)

🌱まなびの芽

水や砂あそびを楽しんでいる2歳児の子ども達。穴の開いた容器に水を入れ、水が落ちて来る様子を見たり、手で触ってみたりしている時の学びの芽を紹介します。

園庭でタライやタンクに入っている水を使い、カップや容器で水をすくったり、こぼしたり、流したり、注いだりしてくり返し遊んでいた子ども達。そこに友達のような声を聞き、砂場で遊んでいた2歳児の子がやってきました。まず興味を示したのははぶら下げている穴の開いた容器。カップで水をすくい容器に水を入れ、水が落ちる様子を不思議そうに見ながらくり返し水を入れる姿がありました。しばらくすると、落ちる水にふと手を伸ばしてみたA児。手に水が触れると、にこっと微笑み、そこから落ちる水に触ってみたり、掴もうとしたりする姿がありました。そこに今度は氷をすくって容器の中に入れ、氷でいっぱいになると満足そうな表情でそこに水を入れ始めたA児。氷が入った水が落ちるのを見ながら、おもむろに落ちる水に手を伸ばしたその瞬間・・・「つめたっ、つめたっ」と手を引っ込める姿がありました。たくさんの氷がはいった水の冷たさに思わず手を引っ込めてしまったA児でした。そこにB児もやってきて一緒に水をすくって容器に水をたくさん入れて、落ちて来る冷たい水に触れては「つめたいね～」と一緒にくり返し楽しむ姿がありました。水をすくっては垂らす単純な遊びではありますが、そこには水の量によって勢いや落ち方、手に触れる感じの違い、水の心地よさ、氷の冷たさなど感触や動きに変化があります。

五感を使って肌で感じ、くり返し試して楽しむことで心が動き、学びの芽生えへとつながった場面でした。意図的な環境を通して子ども達の興味・関心を引き出し、学びの瞬間を見取り、今後の遊びの展開や経験を積み重ねていきたいと思います。

